

陸軍隊命令

十月廿四日午後八時
北支那軍司令部

黒井陸軍砲隊指揮官

一、軍、来、示、六、日、以、望、台、一、帯、高、地、ヲ、奪、取、ス、目、的、ヲ、以、テ、總、攻、
撃、ヲ、再、興、ス
二、第一、第九、步兵、師、團、ハ、各、攻、撃、地、区、ニ、派、シ、午後、一、時、期、ニ、松、樹、山、ハ、二、
龍、山、東、鶏、冠、山、北、砲、台、及、二、龍、山、以、東、一、戸、堡、壘、ノ、前、面、ニ、至、ル、旧、固、壁、上、
ニ、向、ヒ、突、撃、ヲ、實施、シ、次、テ、相、助、同、レ、テ、松、樹、山、砲、台、南、方、高、地、ヨリ、發、後、
軍、副、官、北、方、高、地、ヲ、經、テ、東、鶏、冠、山、砲、台、直、ニ、線、ニ、進、出、シ、該、線、ヲ、左、
顧、ニ、守、リ、又、砲、兵、旅、團、ハ、主、ト、テ、松、樹、山、及、二、龍、山、方、面、ノ、攻、撃、ヲ、援、助、ス、
三、攻、撃、砲、兵、ハ、攻、撃、ヲ、援、助、ス、目、的、ヲ、以、テ、砲、撃、ヲ、行、ハ、シ、ス、我、軍、砲、兵、目、
標、分、隊、ハ、左、ノ、如、シ
右、砲、台、ハ、三、日、至、前、七、時、迄、ニ、射、撃、ヲ、準備、シ、完、成、シ、命、ヲ、待、ツ、ベ、シ
砲、火、ノ、周、圍、ハ、別、ノ、命、令、ス

砲	目	標	一、門、計、ノ、準備、時間
十五、番、第一、砲、台、(一、三)	白、玉、山		七、分
左、第三、砲、台、(一、三)	小、栗、山、坊、主、山、及、十、字、山、南、方、山、上、砲、台		七、分

0295

33

考 備

国立公文書館 アジア歴史資料センター

<http://www.jacar.go.jp>

確證蒲花梅

二門

再興總攻
第一期（第一案）
目標分配

和樹山新機台
高尾山砲台

0297

第一突擊以後

後行
 目標分配中較確合名稱上之△符ヲ有スルモノハ次ノ如ク

藜藿之其從前通リ財幣乎人

陽土一飛一平陽

卷之五

五水師陳

世罕其匹

十五
橋
二
隊

出
步
仁
綱

二
甲
丁
像

二
門

右水

卷之六

陽江縣志

庵南乃海寧古所砲四門

陳某數

十一
五
插

0301

考

$\frac{1}{2} \times \frac{1}{2} = \frac{1}{4}$
 $\frac{1}{4} \times \frac{1}{4} = \frac{1}{16}$
 $\frac{1}{16} \times \frac{1}{16} = \frac{1}{256}$
 $\frac{1}{256} \times \frac{1}{256} = \frac{1}{65536}$
 $\frac{1}{65536} \times \frac{1}{65536} = \frac{1}{4294967296}$

(1) 第二期射撃直後ニ北ヶ心突撃手即チ第一回ノ突撃手ニ移リ、松樹山
 二麓山、ハ砲台及望台等ニ奪取スル能ハスルヲ以テ二麓山ヨリ一戸
 堡壘ニ至ル間ノ支那固壁及溝竊寇山北砲台等ニ(2) 砲台ヲ奪取
 シ得ルモノトシテ第三期ノ目標ヲ既チ新原(或ヤ)麓山松樹山、ニ麓山
 ハ砲台及望台等ヲ突撃手ニシテ至ルハ其附近ノ射撃手ハ射撃ヲ
 延伸シ或ハ側方ノ目標ニ射撃ヲ移スモノトス

コサヤ他之諸地より、また、その大略、平、積、地、の、一、部、地、台、の、地、を、
り、東、海、津、敷、石、新、を、築、

(一) 東、海、地、を、新、築、し、佛、像、を、置、き、堤、防、を、築、き、後、堤、防、を、築、き、
レ、タ、リ、東、海、津、敷、石、上、に、使、力、を、用、ひ、新、築、し、た、り、と、云、ふ、事、は、前、二、時、
手、を、用、ひ、新、築、し、た、り、東、海、津、敷、石、新、を、築、

(二) 以、地、を、新、築、し、た、り、堤、防、を、築、き、堤、防、を、築、き、堤、防、を、築、き、
ヨ、リ、東、海、津、敷、石、上、に、使、力、を、用、ひ、新、築、し、た、り、と、云、ふ、事、は、前、二、時、
手、を、用、ひ、新、築、し、た、り、東、海、津、敷、石、新、を、築、

(三) 東、海、津、敷、石、上、に、使、力、を、用、ひ、新、築、し、た、り、と、云、ふ、事、は、前、二、時、
手、を、用、ひ、新、築、し、た、り、東、海、津、敷、石、上、に、使、力、を、用、ひ、新、築、し、た、り、
手、を、用、ひ、新、築、し、た、り、

(一) 漢唐五經疏は、前七緯著者なり。年譜卒万二千。殆台前支那國學主疏境。

一、日本の東洋に進出する目的

陸奥の行はる 龍崎傳次郎 新平義

丁巳年正月十五日

破壊的

[illegible]

樹山不備破金等ヲ配發事ナリ此所傳教在打車由能

三戰三捷

五拾碗 一三九號
三拾碗 二五五號
新碗 八八號

四
野
天
書

七

共
北
陽
者
七

0307

自壬午年首午信不勝 戰聞報告 (第一四四號)

壬午年首午信不勝 戰聞報告 壬午年首午信不勝 戰聞報告

山下松澤大佐殿

一昨午首午信不勝 戰聞報告 壬午年首午信不勝 戰聞報告
○三高地は、松澤大佐殿の指揮下、戦況は、
ヲナメキ首午信不勝 戰聞報告 壬午年首午信不勝 戰聞報告
夜間射撃は、施行せしめたり

(1) 三高地は、松澤大佐殿の指揮下、戦況は、
松澤大佐殿の指揮下、戦況は、
ヲナメキ首午信不勝 戰聞報告 壬午年首午信不勝 戰聞報告

0308

(四) 壹家砲台主砲砲台より前へ時々射撃あり半信不疑なり。高地へ砲撃
ニ対せん制壓ノタメ橋山及栗山砲台ニ対し合計二十四発、砲撃ヲ
為セリ

(一) 砲臺溝主砲砲台より前へ時々射撃あり砲臺より前へ、目的ヲ達ス
山及橋山砲台ニ対し合計二十四発、制壓射撃ヲ為セリ

三発射撃數

十五發砲一〇三発

主砲砲一四發

四發機銃發數

七

兵士死傷者

七

0310

自壬午年八月十六日
至壬午年九月十六日

戰聞報

自壬午年十一月廿六日
至壬午年十二月廿六日
戰聞報告
第一四五號

土貢手自奉饑饉尤甚左之東方障地黑井陸戰重砲像指攝官

山下海軍大佐殿

昨日自夜間射擊於此

(1) 五福砲台：昨日下午五時以後先行繞至東陽溝北砲台，向七刺歷及破壞。

イタナ九葉ヲ能ク射シテ昨日没リ岸拂曉ニ一箇ニ敵砲火ヲ制壓セタメ

橘山及紫金山と七葉ノ樹を云ふなり

(四) 今朝午前、新地長司宅に参り、高田正對元率制、タノ「ヨサワ」氏を

善松樹山背面ヲ砲撃スル爲メアリタル砲臺遺蹟ヲ砲臺主地砲

ツレチテ明暗軍分ニ異リ種地異同字數而射撃ヲ為セトアリ其射法

教名村千歳又と兼て砲台より在り時幸方より今幸方へ向て橋より砲
台へ向て五発の制壓射撃を為せり

二昨日施行せし昼間射撃事なり也

(一)十五時砲台より前へ時幸方より午後三時三十分より西へ陽光砲台より向て砲台

射撃を為せし又午後四時幸方より又砲台より橋より砲台へ向て制壓射撃を為せり

射撃砲台より幸方

(四)幸方砲台より前へ時幸方より午後三時三十分より橋より砲台へ

砲台の制壓射撃を為せり

(一)砲台砲台より前へ時幸方より午後三時三十分より砲台の制壓射撃

を為せり砲台より砲台より

(四)砲台より砲台より午後三時三十分より東港より大起重機より

側面攻撃を敵艦に向て実施し同艦は沈没し、浮上した艦は良

好すし、観望あり

三、砲撃隊

十五、砲撃 五三、砲撃 五三、砲撃

四、砲撃隊

ナレ

五、砲撃隊

ナレ

青辛日午飽時北去卷子東市陣地黑井陵戰重砲隊指揮官

山下海軍大佐 展發

一昨至自名依六時以後无五母砲箭砲台八打鏡平更湯溝地砲台回所擊ヲ繼續ニ
至五十分三秒射擊ヲ止云云射彈數十発

三番昨夜十時三十分砲兵司令部基不萊七師團及第一師團二二三高地攻擊ヲ援助

二、三ノ外、前時雲多ク、午後一時、直リ霧、砲台より左ノ如ク、制壓全半

制針筆ヲ為セメタリ

(1) 五世第一砲台ハ制壓并破壊ノ目的ヲ以テ專ニ西陽溝北砲台ヲ砲撃シテ敵射

山砲を射る主砲、射撃を爲し能く制壓、目的を達せり

(四) 本家の砲台主砲、橋の山系を要する砲台を平山砲、砲撃を爲し能く制壓

目的を達せり

(五) 砲撃隊、砲台主砲を射る制壓、目的を達せり、山系を要する砲台を平山砲、砲撃を爲し能く制壓

砲撃を爲し能く制壓

(六) 砲撃隊、砲台主砲を射る制壓、目的を達せり、山系を要する砲台を平山砲、砲撃を爲し能く制壓

砲撃を爲し能く制壓

砲撃を爲し能く制壓

(七) 水師砲隊、砲台主砲を射る制壓、目的を達せり、山系を要する砲台を平山砲、砲撃を爲し能く制壓

砲撃を爲し能く制壓

三砲射撃隊

十五冊 砲一二五発
 主冊 砲一二四発
 主冊 砲一〇五発
 四野 砲一二五発
 十レ

0317

皇天

尚書

自青三月廿五日午時
至三月廿七日午時 戰國報生(第一四七號)

青三月廿七日午時
至三月廿九日午時 東方陣地

黑井陸軍重砲隊指揮官

山下海軍大佐殿

一昨三月廿七日午時
至三月廿九日午時 戦國報生(第一四七號)

二昨三月廿七日午時
至三月廿九日午時 東方陣地

三昨三月廿七日午時
至三月廿九日午時 戦國報生(第一四七號)

四昨三月廿七日午時
至三月廿九日午時 東方陣地

五昨三月廿七日午時
至三月廿九日午時 戦國報生(第一四七號)

六昨三月廿七日午時
至三月廿九日午時 東方陣地

七昨三月廿七日午時
至三月廿九日午時 戦國報生(第一四七號)

0318

(四) 吉野の砲台を占領せし敵、砲火制壓、目的ヲ以テ午前七時半迄
 日清軍の陣地を直リ掃蕩シ、及テ砲台を新シキ砲臺に砲撃ヲスル
 (五) 砲臺を占領せし砲台を占領せし敵、目的ヲ以テ午前七時半迄
 四万三千間ノ橋子山砲台を占領シ、制壓砲撃ヲスル
 (六) 水師提督府砲台を占領せし敵、午前一時半頃迄砲火制壓ハ、陣地東方
 道路ヲ通過スル敵部隊前ニ至リ、砲撃ヲスル敵七回以上砲撃
 三、四日後、午後三時ヨリ第七師團が最後ノ砲撃ヲスルハ、砲火制壓ノ夕
 ノ西ノ陽溝及大ノ雲子山、橋子山等ニ對シ砲撃ヲスルハ、午前砲撃
 全軍ノ砲火を集中シ、砲撃ヲ開始シタル午後一時半頃迄、砲火制壓中
 此砲撃ヲ止メタリ

0319

海軍

十五冊 五十六卷
土冊 三十九卷
土所 二卷

其毀損者若死者傷者

七

0320

七、我、砲臺、中、爆、煙、ヲ、起、ナ、シ、モ、航、空、機、ヲ、以、後、三、機、ヲ、艦、中、セ、ヤ、砲、山、
ル、ヲ、得、ヌ、又、時、々、中、一、彈、臺、山、南、側、陸、岸、ノ、連、築、柳、ノ、中、ヲ、以、テ、突、ツ、起、シ、約、半、
分、同、燃、焼、サ、リ

五、砲、兵、同、座、落、リ、初、機、山、新、砲、台、左、肩、角、ニ、敵、ハ、新、タ、リ、竹、ノ、枝、砲、ノ、所、ヲ、備、ハ、敵、前、進、
隊、ヲ、砲、撃、サ、ル、リ、五、機、砲、ヲ、以、テ、破、壞、射、撃、ヲ、為、ル、タ、リ、首、尾、座、落、リ、タ、リ、ヨ、リ、サ、
レ、所、ヲ、最、モ、精、密、ニ、照、準、セ、リ、七、機、一、砲、撃、ヲ、以、テ、七、機、砲、ノ、タ、ノ、同、様、明、視、
ス、ル、能、ハ、ス、座、落、リ、初、機、ヲ、知、ル、ニ、由、ナ、レ

四、我、射、撃、數

五、機、砲、七、八、發、 七、所、砲、一、二、發

六、我、機、砲、最、モ、七、機、砲、者

ナ、レ

0322





山下海軍大佐殿

一、所言在同時聲施無司屋官之條より、高島地、紋左腰地、向字元敵、硫
 上、割歴元為ノ五冊硫ヲ以テ、午後九時至五市ヨリ、一時至市ニ至リ、東大馬場
 北砲台ニ上リ、鐵條元時聲ヲ為セリ、是時彈數右計ニ發

二、香、昼間射撃、夜間如く九三高地に於て、機銃、修正ヲせしむ、五機砲、以テ午前十時三十分、敵砲、四時十五分、三度、再リテ、釜山南側、懸念、泊テ、敵艦隊ヲ砲撃シ、ト、サレシ、又ハ、ハルウカシ、ニハ、夜、海中、ト、商、其他、亦、幾、海中、停、アリ、ト、爆、煙、ヲ、起、シ、ト、モ、前、紀、三、航、ノ、外、山、麓、ニ、散、

レテ余ヲ艦體カ見ルニ能ハシタカキテ彈着点ヲ知ルニ由テ又一彈ハ水煙
ト著ニ大ナル水柱ヲ高ク海中ニ飛揚セリ見タリ

三、以砲台主砲ヲレテ午後四時零分ヨリ東港内大起重器西側ノ敵艦ニ
向ヒ同機射撃ヲ開始シタルニ砲兵司令部ヨリ臺山下面ニ在リテ敵ノ
掃除隊或ハ死者屍体ヲ運搬ニ来リツクアルヲ以テ射撃ヲ中
止スヘキ旨命令アリタルニ午後五時十分射撃ヲ止メタリ茲射撃
數合計ハ茲

四、發射彈數

主砲砲 九二發

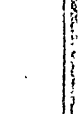
主砲砲 七發

主砲機番番ノ死傷者

七

0324

4/11/1945



自五月三日午後六時
至五月四日午前六時 敵機襲撃報告(第五〇號)

青留方面 敵機北谷庄より飛来 雲霧降 敵機襲撃 砲撃 砲撃 砲撃

山下海軍大佐殿

一昨夜夜間射撃 施行セム

二青留方面射撃 八ヶ岳九ヶ高地 砲撃 観測 修正 砲撃 砲撃

三午前六時 午後四時 午後六時 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃

リ 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃

四 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃

五 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃

六 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃 砲撃

ニ我ニミテ近來稀有ノモノアリシモ其儘ニ成ニ損害ヲ受メタルモノナレ	三水師宮西隣能合主所能并日午能一時四十分教國庫副官ニ付	三我ノ威嚇射撃アリ	四我射撃教	十五冊能 五六我 其所能 三我	五毀損告書ニ付傳者	ナレ
---	------------------------------------	------------------	--------------	------------------------	------------------	-----------

0326



白三月四日午後六時
至三月廿六日午後六時 戦闘報告 (第五一師)

青島方面 敵艦隊を東下陣地 黒井陸軍砲隊指揮官

山下海軍大佐 殿

昨夜夜間 射撃施行セリ

砲台を以て銃九三高地ニ於て觀測業ニ修正ヲナシ、五母砲ヲ以テ午前十時ヨリ

午後三時ニ至リ、島山南側ノ敵艦隊ヲ砲撃シ、合計百七十六発ヲ射撃シ、その内

ホビロニ七発、おんタウニ十発、トウウガニ一発、又ハバルウガニ一発、合計十九

発ノ命中ヲ觀測セリ、其他砲台中、爆音屢々起リ、之を彼我ノ砲音と混

合シテ判斷スルニ能ハルモノ多シ、又午後三時ニ至リ、敵一彈白雲山南麓ノ

火藥庫ニ命中シ、テ大ニ爆発ヲ起シ、以テ火災起リ、約三時間ニ亘リテ

然焼き、本日、敵砲台より我々砲台に對し近來稀に猛射せし之カ
 タノヲ前時、平頃、山砲台より發射せし五種敵彈、番砲、虎、蛇、支
 差、軍中、之、砲、後、鐵、砲、砲、臺、之、砲、ヲ、使、用、之、適、當、ト、シ、テ、左、時、之、應、答、者、三、三、三、
 番、者、一、名、出、シ、又、番、砲、之、前、時、頃、膽、敢、ヨリ、第一銅鑼、部、ヲ、發、射、砲、臺、
 邊、之、砲、臺、ナレリ
 三、昨、夜、十、時、砲、臺、司、官、ヨリ、電、報、軍、令、基、キ、今、朝、九、時、第、七、師、團、ノ、三、高
 地、兵、兵、之、攻、撃、ヲ、援、助、ス、ル、為、メ、右、砲、台、ヨリ、左、如、ク、射、撃、施、行、セ、ナ、リ
 (イ) 五、種、砲、一、門、ヲ、以、テ、西、大、湯、澤、北、砲、台、ニ、向、テ、射、撃、ヲ、行、フ、シ、テ、四、発、ヲ、發、射、シ、タ、ル
 右、敵、彈、ノ、為、メ、砲、尾、ニ、毀、損、ヲ、受、ケ、射、撃、ヲ、中、止、セ、リ
 四、番、家、也、砲、台、五、種、砲、之、前、時、頃、ヨリ、左、如、ク、射、撃、ヲ、行、フ、シ、テ、三、發、ヲ、發、射、シ、タ、ル
 前、陣、左、營、南、方、山、上、一、砲、台、等、向、テ、射、撃、ヲ、行、フ、シ、テ、三、發、ヲ、發、射、セ、リ

(ハ) 礮盤溝溝之砲台ニ於テハ午前九時半より午後九時半迄直リ樹子

山及中栗山砲台ニ制壓射撃ヲシテ午後六時ヲ至ル

四 礮盤溝溝之砲台ニ於テハ午後三時半頃劉家溝ノ内野砲ニ背後ナル

兵員休憩所敵兵ヲ集合シマシムルヲ射撃シテ三時半頃竟ル

製造所附近ニ集合セル敵兵ノ集團ニ向ヒ射撃ヲシテ若干ノ損害ヲ与ヘタ

リ奈射撃數后計九発

五 礮台ニ於テハ午後三時半頃劉家溝ノ内野砲ニ背後ナル

敵艦ニ對シテ奈射撃ヲ加ヘリ

六 礮盤溝溝之砲台ニ於テハ午後三時半頃劉家溝南方道路ヲ通過セル

敵ノ部隊向ヒ奈射撃ヲシテ三時半頃礮山補備砲台ヨリ友軍ニ

對シテ奈射撃ヲ加ヘリ奈射撃ヲシテ數発命中タル模様ヲ加ヘ

0329

夕リ城壁等ニ射テ敵ハ百十ナリトモ高地ノ野砲台ヨリ城ニ應射ヲモ
 其ノ後ハ城ノ陣藥庫ニ命中セモ華ニテ悉ク及外敷等ヲ以テ之ヲ破壊
 セリタリタリ外敷等ノ燒損ニタリシモテ陣藥ノ爆発ヲ見ニモテサレシ
 七、銃射彈數

十五冊砲一八〇發 主冊砲七九發 赤砲 二二發

八、毀損兵器

十五冊砲二所

九、死傷者

重傷 二名 輕傷 二名

一〇、吾敵砲台ヨリ城十五冊砲台陣地ニ向テ發射セシ彈數ハ十一發トモ

0330

校令

井内 十月九日發電報

伊集院軍令部長宛

黒井陸戦重砲隊指揮官

伊集院軍令部長宛
本隊引続々掘堀砲ヲ以テ敵艦ヲ砲撃シタルニ敵ノ諸砲台ヨリハ
近來稀ナル猛烈ナル應射ヲ受ケ白雲ヨリ発射セル五冊敵彈
我ニ番砲(吳三号)尾柱腕ノ交差ニ命中爆発シテ砲尾銀
ヲ破壊シ之ヲタテ該砲ハ全ク使用ニ適カズ重軽傷者四名ヲ
出セリ又一番砲(吳一八号)ハ最初ノ第一發ニ於テ膽破ノタメ
第一鋼銀ノ第二鋼銀ノ縫目ノトコロニテ破裂シ第一鋼銀ハ破
壊飛散シ廢砲トナル使用セシ彈藥ハ二号徹甲、帶狀火藥ナ
リ信管ハ三十七年十月吳改正三号ノ封印アルモノヲ用イタリ信
管ノ装着方等ニ関スル特ニ一層嚴密ニ注意ヲ執リマア

0331

ル故キ落等ノミトナレ従来屢々起リタル膿疱又ハ早発ノ
状以テ利断スニ現用ノ帯状火藥ハ時々テ膿壓甚々高キ
過クハミトアリ下激彈彈底ノ強サ之レニ堪ヘサルモノアルニ依ルカト思
考スニ門共砲架砲軸ニ故障ナレ

0332



自五月十六日午後六時
至五月十七日午後六時 戦闘報告 (第一五三號)

五月十七日午後六時 敵艦隊の進出を阻止し、我が艦隊の砲撃を指揮す。

山下大佐 殿

一昨夜夜間射撃を施行す。

二本日、射撃は午前七時三十分より十五時迄、以て前日比、如く九三高

地にて観測を修正し、正しく白玉山南側ノ敵艦隊ヲ砲撃す。四

十八発、射撃ノ中、レトリカセシ(又ハバロウカ)ニ五発ノ命中弾アリシ。

観測より本日、強風ノため、弾着修正困難ニシテ、随テ射撃成績良

好ナリサルヲ以テ午後二時十分至リ射撃ヲ中止セリ。

三十五母補充砲二門ハ本日午後四時三十分着弾後、砲架を汽車で東房舞ノ

0333

停車場ニ向ケ発送ノ報ニ接ス

四本目夕刻本隊司令部ヨリ砲臺溝ヲ經テ右ニ高地觀測所ニ通ル

電話線ノ架設ヲ了ル

兵隊射撃數

十五冊砲 四八發

大野嶺兵器ヲ死傷者

ナレ

0334

Taggart

海軍

三月七日 海軍陸戦隊

青島島嶼
陸戦隊司令官
伊集院軍令部長 此電報後

小官有目ニ三高地より港内観測スルホルタリハ沈没シテ海底ニ勝
着セリ又フレルトモ著シハ着シク左舷傾キマアリ右ニ艦ハ到底我関
航海ニ耐ヘンモト確認ス右ハ今朝発見シタル所ニテ昨日ノ砲撃
ノ結果ナリト候ス其他ノ諸艦ハ外見上大ナル変化ナク尚依然トシテ
碇泊シマアリ或ルモノハ煙ヲ吐キマアハ故ニ航海力ヲ失シ
タレモトハ報ノ難シ

0335

明治三十四年八月十四日
青島の日本艦隊の戦況報告（第五十三号）

青島の日本艦隊は、昨日（八月十三日）午後一時、青島島の南側に、敵艦隊と砲撃戦を行った。敵艦隊は、砲撃を繰り返したが、我々の砲撃に耐えられず、午後三時頃、撤退した。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。

山下海軍大佐殿

一昨夜夜間射撃を行な

二本日も引続き九三高地に於て観測を修正し、十五時頃、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。

三本日も引続き九三高地に於て観測を修正し、十五時頃、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。

四本日も引続き九三高地に於て観測を修正し、十五時頃、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。

五本日も引続き九三高地に於て観測を修正し、十五時頃、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。

六本日も引続き九三高地に於て観測を修正し、十五時頃、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。

七本日も引続き九三高地に於て観測を修正し、十五時頃、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。

八本日も引続き九三高地に於て観測を修正し、十五時頃、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。

九本日も引続き九三高地に於て観測を修正し、十五時頃、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。

十本日も引続き九三高地に於て観測を修正し、十五時頃、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。

十一本日も引続き九三高地に於て観測を修正し、十五時頃、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。我々の砲撃は、敵艦隊の砲撃に比べて、非常に正確で、敵艦隊の砲撃を打ち止めた。

レノトワイヤハ着セテ左舷ニ傾斜シマシテ発見セリ「おヒタワ」ハ昨
 日午前二時に我軍ノ南ヲ奔ルセリアリセリ推考スルニ左舷ノ沈没ハ昨
 日午後三時我軍ノ五艘沈没ノ戦事ニ依ルモノト信ズ又「おヒタワ」及「トワイ
 ヤ」ノ二艦ハ共ニ我軍航海壕ニカサレト確信ス
 三時家也砲台五艘砲ハ午後二時五分ヨリ四時五分ニ亘リ白山砲台ヨ
 リ我軍五艘砲台及我軍見濱附近ノ支隊ニ對シ我軍砲台砲火ヲ制壓
 スル為メテ我軍制壓砲撃ヲシタリ
 四時師団南濱五艘砲台ヨリ午後四時五分頃我軍兵五里橋北方高地
 ニ向ヒ前進我軍砲台ニ對シ松樹山補備砲台ヨリ狙撃スルヲ想フ
 五時五十分砲撃制壓ヨリ此時松樹山東南方高地ニ我軍砲撃ヲ砲
 撃スル後ヨリカサレトワイヤ及「おヒタワ」ニ對シ我軍砲台砲火ヲ制壓
 スル為メテ我軍制壓砲撃ヲシタリ

0337

中隊長上等兵曹天田彦藏敵陣ノ為ニ戦死シ年一五重傷ヲ受ケ
ケ緒帶所ノ収容ノ任遂ニ戦死スリ是船陣歟合新四六歳トス

五戦増五船砲三所ニ對ス補充ノ砲一門日本青龍院彦花ノ陸揚スルノ報アリ
タルヲ以テ度取ノ為ニ將校一名上等兵曹一名ヲ派遣セリ

六、敵船陣歟

五船砲 五七歳 三所砲 四六歳

七、敵損兵器

十レ

八、死傷者

戦死 兵曹 天田彦藏 年一五

十月十日

十月七日 海軍陸戦隊砲隊

十月二日午後十時 伊集院軍司令部長電報校名

本月二日以來九ヶ所赤雲高地に於て觀測ヲ為シテ引續キ
毎日白玉山南側ニ砲泊シテ敵艦隊ヲ砲撃スルマリ全
所ヨリハフおバーダレトウサギト又サギルダレ及フホルクワレ
対スル余中陣ヲ觀測スルストヲ得而リ他ハ確カニ余中
爆煙ヲ認メ得ルモ山麓ニ隠レテ何レ敵艦ヲ見ヤ陣着点
明カラズ本日迄ノ合計余中陣ハフおバーダレ三十四ヶ所
トウサギレ又ハ(フホルクワレ)ヨナノ砲ヲおバーダレニ砲隊中レ
タル外午後三時過白玉山ノ南隅ニ於テ大ナル爆炎ヲ
認メタリ昨日ハ砲ニ門損害アリシモ今朝ニ至リニ二三

0339

高地ヨリ見ん結果先ニ電報シタル如ク昨日、砲撃ニ
テ意外ノ効果アリシト分リ士氣大ニ振リニテ、朝砲を
本日ヨリ敵艦砲撃ヲ始メタリ明日ヨリ電話線ヲ架設シ
ニ、三高地ヨリ観測シテ砲撃ヲ続行スル豫定

0340

陸軍省防務局

青森縣陸軍醫院連合部長宛電報校宛

最モ奇蹟ヲ示ス実驗ニタル所屬ニ依リテ帶狀火藥ヲ用ヒタル場合ニ
紐狀火藥ヲ用ヒタル時ヨリモ彈着距離常ニ著シク遠キ明カニ
事決ミテセキ乃至ハ半密ノ射距離ニ於テ時ニテハ二百米実以上ノ
差アリシトアリ下瀬彈早発ノ爲ニ十五枚砲ノ破壊ニ因リ及ビ又通
常炸藥彈ノ早発ニテハ五枚及十五枚甚甚數甚々多シ而シ
熟シテ帶狀火藥ヲ用フル場合ニ限ル但通常炸藥彈早発ノ
時ハ砲口ヲ出テタル後破壊ニ於テ散ルニ常ニカ故ニ砲身ヲ破壊
スルニ至ラズ斯クノ如ク頻繁ナル早発アルハ全ク帶狀火藥ノ威力強
キニ過キテ彈丸ノ強度之ニ耐エザルモト認メサルヲ得ス故ニ十五枚砲

0341

ニ付ニ現在ノ如ク帶狀火薬ノニ信結ミル間ハ砲ノ生庫ニニ據ニ難
キニフヲ遺憾ナカラ下瀬彈ハ発射セルノ外ニ保レ斯クテハ大効力
ヲ成セル事故若干ノ紐状火薬ヲモ信結ミルニストハ所詮強弱サレ又
測壓器ハ本日到着セタリニ現在使用セル帶狀火薬ノ壓カヲ
測ニ難

0342

自五月七日午後六時 戰鬥報告(第一四號)

自午後一時起至五時止 東方陣地 黑井陸戰重砲隊指揮官

山下惣次大佐 殿

一昨夜夜間射撃手施行せし

二本日昨日より高地に建設せし観測所之砲台將校ヲ派遣シ在所ニテ

觀測ヲ行フ修正ヲシ午後四時五分より五時迄

ヲ以テ前日來ノ如ク敵艦隊ヲ砲撃シテアルルニ十四発ノバーヤシ

ニ六發ノ砲中彈ヲ得テアルルハ艦尾稱ニ沈ミ艦體ニ多大ノ損傷

ヲ與ヘ其他白雲山東南麓及舊金山ノ一隊艦隻庫等ニ命中セ

シテ多ク砲ニシテ大ナル破壊ヲ起ヤリタリ砲射隊數名死シ一〇九發

三十五冊補充硃二門及硃輕一基は昨夜土時半頃東房身傳車場
二番直生運搬準備振り本日は在一時頃今修車場を越え
硃身二門から南にお城子附近運搬中より硃輕一基は既に障地
に到達し整備中なり

四巻解譯数

五冊硃 一〇九巻

五巻損失書上北傷者

ナレ

0345

五月九日午後六時 敵艦報告(第一五五號)

五月九日午後一時北風急々東方陣地 雲井陸戰重砲隊指揮官

山下海軍大佐 殿

一昨夜夜間射撃施行セシ

二本日射撃は主砲及十寸砲ヲ以テ港内敵艦隊砲撃ヲ為シ李家

砦砲台及十寸砲砲台ヨリ砲台特設ヲニシ高地ノ觀測所ニ派遣

シテ所ニ於テ觀測ヲ修正シテ午前十時ヨリ午後四時ヨリ且リ

左ノ如ク射撃セリ

(一)李家砦砲台主砲砲台十時ヨリ射撃ヲ開始シ東港内ニ擊泊

スルハヤンヲ砲撃シテ水原中ノ火袋ヲ起セリ且左舷ハ左

0346

石三門ハ新汲山禪像上ニ礎台ヲ構築スルニシテ今朝ヨリ直ニ三車
ニ着手シ立母礎ハ明朝午前八時ヨリ新庫地ニ向ヒ運搬ノ像是
ナリ

五、養射彈教

古拙 三十一

十三冊
二十六卷

六毀損兵器什物者

42



陸戦隊司令部

三月八日午後一時
於此處屋下東方陣地

黒井指揮官

一、礮盤溝上柵第一砲台ハ二三高地ノ東北方ナル輕部ヲ移
轉シ港口及港口附近ヲ射撃スル得ル如ク速カニ砲台ヲ構
築スヘシ

但シ砲台ノ構築スルニ關シテハ第六中隊ノ兵員ヲシテ之ヲ
補助セシムヘシ

二、水師營西溝上ノ砲台ハ其三門ヲ赤坂山ニ移シ港口
附近ヲ射撃スル得ル如ク速カニ砲台ヲ構築スヘシ
但シ砲台ノ構築スルニ關シテハ第六中隊長ノ指揮下ニ
ル兵員ヲシテ之ヲ補助セシムヘシ

0349



自五月九日午後六時
至五月十日午後六時 戦闘報告(第五号)

青島方面の戦況に右記を東方陣地 黒井陸軍砲隊指揮官

山下大佐殿

一昨夜夜間射撃中止

二本日五時前日ノ如クニ三高地ヨリ、観測並ニ修正ヲモテ午前九時半分
ヨリ十五枚砲ヲ以テ敵艦「バーヤン」砲撃ヲ開始セシモ凡雪及沙塵
ノ為メ彈着明カキタルヲ以テ概算局ニ向ヒ三発ヲ発射シ二発ノ庫
中彈ヲ得タリシモ僅凡ノ為メ電流線切斷シテ不通トナリ彈
着修正ヲ不能イサルヲ以テ遂ニ射撃ヲ中止セリ

三赤坂山ニ移動スルモ五枚砲ハ已ニ砲台構築ヲ了ルル砲ニシ

毎
日

0350

七、今夜中ニ掘付ヲ了リ明朝マデニ発射準備整定ニ俟テ ナリ	又今所ニ移轉スヘキ土所砲ハ目下砲台構築中火砲三門ハ已 ニ布設山北方ノ岩地迄運搬スルベシ	四、発射回数	五、土砲砲四発	五、戦糧兵器死傷者 ナシ			
--	---	-------------------------------	--------------------------------	--	--	--	--

0351

關靜生（庚午年）

青之山是餘先生居之東方隱也

山下田子古佐殿

夜間射擊施行表

本書の別紙より蛇谷長三と云ふ今やラキ新市街より北に
 羊が草の生え茂る中を蛇谷と云ふ新市街の北に蛇谷の寺と云ふ
 新市街に蛇谷寺と云ふ蛇谷寺の寺の北に蛇谷の寺と云ふ蛇
 谷寺の寺の北に蛇谷の寺と云ふ蛇谷の寺の北に蛇谷の寺と
 云ふ蛇谷の寺の北に蛇谷の寺と云ふ蛇谷の寺の北に蛇谷
 の寺と云ふ蛇谷の寺の北に蛇谷の寺と云ふ蛇谷の寺の北
 に蛇谷の寺と云ふ蛇谷の寺の北に蛇谷の寺と云ふ蛇谷の
 寺の北に蛇谷の寺と云ふ蛇谷の寺の北に蛇谷の寺と云ふ

(印)

第一五冊砲台長之命令

五月十日午後九時
北支那支隊司令部

一、五冊砲台の明土日午前十時半ヨリ射撃ヲ開始スベシ

二、第一砲台の目標ハ至トシテ敵ノ艦艇トシ又第二砲台ノ

目標ハ至トシテ新市街及ビ其他ノ倉庫建築物

等トス

三、天候等ハ為メ敵艦艇ノ觀測ヲ困難トシ場合

於テハ第一砲台ノ主トシテ標的局魚雷等及ビ他者

師艦等島附近ノ倉庫建築物等ヲ砲撃スベシ

四、砲射ハ全隊ノ砲台ノ射撃ヲ對シテ主トシテ下

0354

二用ヒ陸上建築物ヲ付与スルモノトテ通常建築
三用ニ用スルモノトシ

星井 哲一 友

(3)

0355

明治三十二年九月五日
新聞紙(第五八號)

青森縣立病院敷地を定むる事

山下池一千七伍畝

一、青森縣立病院敷地を定むる事
二、山下池一千七伍畝
三、青森縣立病院敷地を定むる事
四、山下池一千七伍畝
五、青森縣立病院敷地を定むる事
六、山下池一千七伍畝
七、青森縣立病院敷地を定むる事
八、山下池一千七伍畝
九、青森縣立病院敷地を定むる事
十、山下池一千七伍畝
十一、青森縣立病院敷地を定むる事
十二、山下池一千七伍畝
十三、青森縣立病院敷地を定むる事
十四、山下池一千七伍畝
十五、青森縣立病院敷地を定むる事
十六、山下池一千七伍畝
十七、青森縣立病院敷地を定むる事
十八、山下池一千七伍畝
十九、青森縣立病院敷地を定むる事
二十、山下池一千七伍畝
二十一、青森縣立病院敷地を定むる事
二十二、山下池一千七伍畝
二十三、青森縣立病院敷地を定むる事
二十四、山下池一千七伍畝
二十五、青森縣立病院敷地を定むる事
二十六、山下池一千七伍畝
二十七、青森縣立病院敷地を定むる事
二十八、山下池一千七伍畝
二十九、青森縣立病院敷地を定むる事
三十、山下池一千七伍畝
三十一、青森縣立病院敷地を定むる事
三十二、山下池一千七伍畝
三十三、青森縣立病院敷地を定むる事
三十四、山下池一千七伍畝
三十五、青森縣立病院敷地を定むる事
三十六、山下池一千七伍畝
三十七、青森縣立病院敷地を定むる事
三十八、山下池一千七伍畝
三十九、青森縣立病院敷地を定むる事
四十、山下池一千七伍畝
四十一、青森縣立病院敷地を定むる事
四十二、山下池一千七伍畝
四十三、青森縣立病院敷地を定むる事
四十四、山下池一千七伍畝
四十五、青森縣立病院敷地を定むる事
四十六、山下池一千七伍畝
四十七、青森縣立病院敷地を定むる事
四十八、山下池一千七伍畝
四十九、青森縣立病院敷地を定むる事
五十、山下池一千七伍畝
五十一、青森縣立病院敷地を定むる事
五十二、山下池一千七伍畝
五十三、青森縣立病院敷地を定むる事
五十四、山下池一千七伍畝
五十五、青森縣立病院敷地を定むる事
五十六、山下池一千七伍畝
五十七、青森縣立病院敷地を定むる事
五十八、山下池一千七伍畝
五十九、青森縣立病院敷地を定むる事
六十、山下池一千七伍畝
六十一、青森縣立病院敷地を定むる事
六十二、山下池一千七伍畝
六十三、青森縣立病院敷地を定むる事
六十四、山下池一千七伍畝
六十五、青森縣立病院敷地を定むる事
六十六、山下池一千七伍畝
六十七、青森縣立病院敷地を定むる事
六十八、山下池一千七伍畝
六十九、青森縣立病院敷地を定むる事
七十、山下池一千七伍畝
七十一、青森縣立病院敷地を定むる事
七十二、山下池一千七伍畝
七十三、青森縣立病院敷地を定むる事
七十四、山下池一千七伍畝
七十五、青森縣立病院敷地を定むる事
七十六、山下池一千七伍畝
七十七、青森縣立病院敷地を定むる事
七十八、山下池一千七伍畝
七十九、青森縣立病院敷地を定むる事
八十、山下池一千七伍畝
八十一、青森縣立病院敷地を定むる事
八十二、山下池一千七伍畝
八十三、青森縣立病院敷地を定むる事
八十四、山下池一千七伍畝
八十五、青森縣立病院敷地を定むる事
八十六、山下池一千七伍畝
八十七、青森縣立病院敷地を定むる事
八十八、山下池一千七伍畝
八十九、青森縣立病院敷地を定むる事
九十、山下池一千七伍畝
九十一、青森縣立病院敷地を定むる事
九十二、山下池一千七伍畝
九十三、青森縣立病院敷地を定むる事
九十四、山下池一千七伍畝
九十五、青森縣立病院敷地を定むる事
九十六、山下池一千七伍畝
九十七、青森縣立病院敷地を定むる事
九十八、山下池一千七伍畝
九十九、青森縣立病院敷地を定むる事
一百、山下池一千七伍畝

0356

後四時未所曉了大衆皆睡。請主在場。此境以爲奇。

其他走虎陣者爲老龍、白蛇、蜈蚣、大蜈蚣、馬、

衆所傳教任計百不獲其說一德亦多已以無如連之新市街道

[illegible]

李、阮、劉、王、張、趙、五姓、皆、漢、之、舊、臣、也、

中ニテ復ニテハ情願シヤリトモ野散重理情馬野散既年ノ前

此詩，名碑錄之，刻石於明寧入後，初爲萬曆七年，隨丁集中心

我が心をなかりし〇年より夫より豊か山幸方ノ山王より海ノ王より

砲より砲臺に撃つる危険より半信不疑より一彈嘉左衛門

ハナタタニ、（一）正・陣・墓・穴・墳・ヲ・為・シ・テ・ウ・ル・ニ・シ

年表地才砲發九名死傷者四時之變之遺德境也

五洲大藥房

不傷者

戰死葬一區

宣傷下止一息 榮至如

輕傷下士死 卒死

陸戦隊命令

十二月十日午後九時
北火石屋三東方陣地

一、新タニ赤坂山ニ移轉シタル十二冊砲及十三所砲ハ明十三

日午前十一時ヨリ射撃ヲ開始シ西港内ニ在ケル船舶并

ニ新市街ニ在ケル倉庫、建築物等ニ對シ破壊射撃

ヲ行ハベシ但シ病院船及陸上病院等ニ對シハ咸ルヘク

危険ヲ及ボサルコトニ注意スベシ

西大陽溝及葉子山椅子山等ヨリ危険な射撃ヲ度ケタ

ルヤ之ニ應射スベシ

二、赤坂山砲台ノ射撃ヲ開始シ伴ニ敵砲台ヨリ集中射

撃ヲ受ケタル場合ハ十二冊榴弾砲三ヶ中隊、及共冊

砲、南ハ鴨湖嘴、太陽溝、葉子山椅子山方面ノ諸砲台

0360

ニ対シ制壓射撃ヲナシ野戦重砲兵聯隊及
步兵師團ノ野戦砲兵一部モ亦制壓射撃ヲ
ナス勢甚ナリ

三十一日朝第一砲台ニ西太陽北砲台ニ對シ全第二砲台
及李家屯砲台ハ椅子山及宋家山ニ對シ午前九時
半ヨリ制壓射撃ヲ開始スベシ

黒井指揮官

(3)

0361



海軍陸戦隊配隊

七月十日午前七時 伊集院元長 宛電報校合
大島島上東方陣地裏

赤坂山ニ移るん主砲砲三門及十所砲三門ハ昨日午前ヨリ
射撃ヲ開始シ港内ノ船舶、魚雷艇、老中尾、羊島及新
市街等ヲ砲撃セリ陸上建築物ニ対シテハ多大ノ損害
ヲ與ヘ新市街ニハ火災ヲ起シタル等、効果甚ク大ナリ、駆
逐艦及汽艇等ノ航海場をモ、悉ク港外ニ出テセバ
トオリレノ附近ニ砲泊シアルモノ如ク、饅頭山一帯ノ山麓
隠レテ見エズ敵砲台ヨリノ集中砲火ハ隙期ニタリヨリ
ハ猛烈ナリサリシモ距離近キタリ損害ハ頗フル多ク昨日
ハ砲門ヨリ入子爆発シタル敵陣ノタリ一時ニ九人ノ死傷者

0362

シ生セリ本日モ亦昨日ノ砲撃ヲ続行ス外紀キ午後三
 時ヨリ港外ヲランツヤストおりーノ想定位置ニ向テ同機
 射撃ヲイヘルヲタレ望樓ヨリ觀測シテフノ位置ヲ確ム
 ル豫定ナリ

0363



自五月五日午後六時
至五月五日午後六時 戦闘報告 (第五九號)

五月五日午後六時 戦況 東方陣地 果陸戦艦砲撃 砲撃 砲撃

山下大佐殿

一歩退く事能はざる前時より砲撃ヲ開始シ老弱兵士等もこれに
築物機雷局、魚雷艇等と共に近づくに砲撃ヲ受けては上陸
築物に討ち死す大損害ヲ蒙り魚雷艇も六隻中四隻が沈没し
土曜日の夜に起る約二時間、再び土曜日の夜に起る約二時間、
アリタル船艇も約六隻中四隻が沈没し、残る二隻も砲撃に
罹り連絡が断れ、艦隊は散り、想はれどは、戦況は不利に
八百七十七人、戦死したる者も、戦死したる者も、戦死したる者も、

次テ降参トヤリ陣書未明曉チハ望樓ニ僅カニ電燈
 十数突ノ近着陣ヲ識スルニテ天光暗ルニ傳テ
 更ニ敵射ヲ行フ豫定ナリ我射彈數合計百四十五発
 赤阪新砲台ハ午前七時半方ヨリ射撃ヲ開始シ西濱野砲臺
 及新市街ノ砲臺ヨリ陸ニ連射スル大砲 砲臺ヨリ又他ノ重
 ハ年中彈ノタメ火災ヲ起シ遂ニ沈没セリ新市街ノ建築物
 ニ射死砲撃モ亦多ク大規模ヲ具ヘリ午後三時半分天
 候不食ノ為メ射撃ヲ中止ス我射彈數合計百八発
 礮臺砲臺主砲砲台ハ午後一時十分ヨリ三時半分ヨリ元宿房
 附近ニ出入ル敵兵ノ集團ニ對シ十発ノ射撃ヲ行フ
 四十五機砲台ハ午前七時半方ヨリ椅子山砲台ニ對シ制壓射撃ヲ

オランダ船新市街ニ付ル間梅射撃ヲ行シニ時ヲ失フ事ナキニ
射撃ヲ行ス

此等家船ニ射撃台ハ午位迄時ヲ分ヨリニ時ナクニ直リ奥面

置附近ノ船ニ付シ間梅射撃ヲ行シナキ事ナキニ梅射撃

ニ付シニ花袋中ナリ

六条射撃数

五冊砲二一巻 七冊砲一六六巻 所砲二二八巻

七巻 砲臺上死傷者

ナレ

同主月書付伝可時
至五月書付伝可時 殿閣報告(第三〇號)

五月十四日午伝時記述者等より傳地 無事陸軍軍艦隊掃掃中

山下海軍大佐殿

一昨朝午前傳付より四時迄間我軍艦隊の海より大攻撃を機動せし

海軍艦隊が攻撃を遂行し海軍艦隊が攻撃を遂行し大攻撃を遂行せし

我軍の主戦艦隊は本年より前よりよりよりよりよりよりよりよりより

本軍艦隊は本年より前よりよりよりよりよりよりよりよりよりより

高き破壊艦隊よりよりよりよりよりよりよりよりよりよりよりより

同機動隊よりよりよりよりよりよりよりよりよりよりよりよりより

本軍艦隊よりよりよりよりよりよりよりよりよりよりよりよりより

0367

多他陣着に居る不明ナリト報告ヲ得タリ	本日午後一時半頃大津山砲台より砲を打ちしと云ふ報敵陣着砲台砲	口近ク砲身の中ニ砲身は上より曲折して飛砲より大砲車	輪ノ一部ヲ毀損セリ	三番隊砲台に午後四時五十分より先鋒隊半隊ノ砲隊が射し	十発ノ射撃ヲセリ	無発射撃	五番砲 六発	六番砲 七発	四番砲 八発	五番砲 九発	六番砲 一〇発	七番砲 一〇発	八番砲 一〇発	九番砲 一〇発	十番砲 一〇発
--------------------	--------------------------------	---------------------------	-----------	----------------------------	----------	------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	---------

0368

自三月十四日午後三時
三月十五日午後三時

敵艦 三月十五日午後三時 敵艦報告 (第六一號)

青島方面敵艦大なる艦隊あり 馬尾鐵工廠外に艦隊あり

山下海軍大佐殿

一昨夜敵艦三隻より馬尾方面に侵入し、夜間港外より港内へ交通する艦

船、往來を防止せん目的のヲ以テ、馬尾半島端、港口附近

二箇に敵艦射撃ヲナシ、九時射撃ヲ止ム。我射撃數ナシ

六時日施行したる射撃ナシ

(1) 青島山五峰砲台より午後三時より射撃ヲ開始し、馬尾方面附近

及新市街ニ花火ヲ放テ、連日建築物ヲ破壊シ、テ少ナカリ

ル損害ヲ与ヘタリ。我射撃數合計四十四

0369

昨日毀損したる砲台主砲砲台の破壊砲二砲台の主砲砲
 台以下代えりし本日、破壊したる砲台撤去し明日陸軍
 兵の助力を得て砲盤溝より運搬せしる豫定ナリ
 (口) 赤坂山主砲砲台は午後一時半より午後四時半分の直り魚
 雷堂及全所前、数多海、水雷艇(東雷堂前面に四煙
 突、駆逐艇一隻及艇首、砲台、有る一煙突、水雷
 艇二隻、撃ち留しあり但、何れも航海艇、閉、後、修、修、修
 修、トハ、退、カ、カ、シ) 兵、新、市、街、主、要、な、建、築、物、を、砲
 撃、し、水、雷、艇、一、隻、は、中、隊、一、隻、を、破、壊、し、建、築、物
 三、隻、を、損、害、し、果、タ、リ、砲、台、弾、数、は、新、七、五
 (イ) 東、港、内、の、奥、に、敵、艇、一、隻、(ア、イ、ル、ス、) を、新、七、五、が、目、を

海
軍

0370

部觀測所より発見せしむるは砲台主柵砲ヲレテ午後
二時三十分より四時三十分同砲ヲ砲撃せり 森射隊教平
亮

三十五番砲二門ヲ五十四高地附近ニ移轉スルキ旨ノ砲兵命令ニヨ
リハ砲兵隊子ニ五十五番砲ニ砲台ノ二門ヲ移スト、レ爾日
ハ陣地、壕、是ヲ終リ本日ハ早朝ヨリハ砲台所屬、中隊ヲ新陣
地（ナニ山北麓、岩地ヨリハ平溝ニ通ル道路鞍部ノ南側
高地）附近ニ首領營ヲ移轉セシメ直ニ砲台構築ニ着手
セリ猶明日ヨリハ毎日徒歩砲兵獨立大隊ヨリハオオサ
カヲ得テエ華ヲ急カセム豫定ナリ又ハ砲台ニ掘付ルハ
ヤ新砲床ハ本日午後七時半ハ東原身（向テ青砥産ヨリ

0371

海軍

四、
裂
射
彈
數

主相碗
七四碗

土所成
八五聚

其毀壞兵器死者

五

0372

15

岑海軍大佐殿

一夜間港內受通元艇擲下自的炸彈昨夜無恙時引致

山崎磯ヨリテ港口附近ニ向テ航線ヲテテ又新市街ニ到

歌行體等ヲモ信新平亮ヲ表シ

大書施行ニル時其ノ在ル

(1) 泰成山主神祀の年月裏宮所迄の難留してん水常盤(一)

商：幾何道可有二種（一）純擊（二）實擊

中化一覽云：戰前中米六八噸，戰後一萬噸。

三種高田高地附近、移轉ハキナシ新津地ハ昔ヨリ
礎座ノ開城ノ看テシ徒歩砲兵卒ヲ助カシ得
テ二門分共ニ縦横各々六メートル深サ。米突七〇ミ反リ
又砲床材料ノ一部ハ昨夜東京府身停車場着シ今朝
リ此城砲廠、手ニ障地ニ向テ運搬中ナリ

四、發射彈數

主砲砲二六發

主砲砲七九發

五、毀損兵器

主砲砲車輪一、俯仰器一、照準器一

六、死傷者

重傷下士一

0375

韋氏下士一員 卒三九

讀

三

0376